

高所作業の助っ人

エアーリフター

AL-400

取扱説明書

このたびはエアーリフターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に効率よく作業していただく為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み
になり、正しい取り扱いと保守をしていただき、ご愛用くださるようお願い
申し上げます。

● 目次

禁止事項／注意事項	・・・ 1 P
仕様表	・・・ 2 P
各部の名称と説明	・・・ 3, 4 P
設置と作業	・・・ 5, 6, 7 P

BBK テクノロジーズ

本社	〒102-0093	東京都千代田区平河町1-1-1 TEL:03-3556-2414 FAX:03-3556-2455
大阪営業所	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島5-11-9 新大阪中里ビル4F TEL:06-6885-4811 FAX:06-6885-4815
久喜センター	〒346-0028	埼玉県久喜市河原井町49 久喜昌酒工業団地 TEL:0480-25-5670 FAX:0480-25-5671

～安全にご使用いただくために～

【作業前点検徹底のお願い】

使用する前に取扱説明書をよく読み、
下記①～③を点検してください。

- ①エア漏れがないか？
- ②ネジや各部の緩み、がたつきはないか？
＜①②が問題なければ③へ＞
- ③空荷でスムーズに上げ下げができるか？
動きが悪い場合はオイル切れです。
オイルの補充をするか、メーカーにオーバーホールを依頼してください。

※ 作業前点検で異常があり、お客様で改善できない場合は、ご使用を中止してください。

死傷事故につながる危険があります！

【定期点検のお願い】

- 1、ご購入後3年でメーカー点検
- 2、その後は2年ごとにメーカー点検を実施してください。

このたびは、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に効率よく作業していただく為に、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。
適切な取り扱いと保守をしていただき、末長くご愛用くださるようお願いいたします。

● 禁止事項（死傷事故につながります）



- 水や油、動物等の重心の移動するもの、安定しない形状物、大きく広い面積の物は絶対に乗せないでください。バランスを崩し落下の原因になります。
- 荷物専用ですので、人は絶対に乗らないでください。
- 積載重量はオーバーしないでください。
- 上下するリフトシリンダーをひもや針金等で縛らないでください。シリンダーが動いた時に転倒し危険です。
- 上下するリフトシリンダーには触れないでください。皮膚が巻き込まれたりして転倒し事故になります。
- 荷の重心を必ず確認し、その重心がリフトのセンターに乗るようにしっかりと固定してください。積荷がバランスを崩すと危険です。
- 荷を乗せたまま移動しないでください。
- 設置する床や地面はしっかりした段差や傾斜の無い平らな所で4本支持ができる場所にしてください。リフトがバランスを崩すと危険です。
- 風のある場所や揺れる場所での作業は中止してください。バランスを崩し危険です。
- 3 m以上上げる場合は、ロープ等で平行を補助してください。



- この説明書をよく読み、このリフトを理解している人が操作を行ってください。
- スイッチバルブの押しボタンをコントロールして、ゆっくり荷を上下させてください。
- テーブルロックピン、アームストッパー、車輪ロック、車輪ストッパー等は必ずきちんと行ってください。
- 伸長止めチェーン、スイッチホースのからまりが無いことを確認してください。
- エアー式ですので伸長止めチェーンをしないうまま荷下ろしをすると、ホッピングして危険です。必ず伸長止めチェーンを使用してください。

● 注意事項（けがをするおそれがあります）



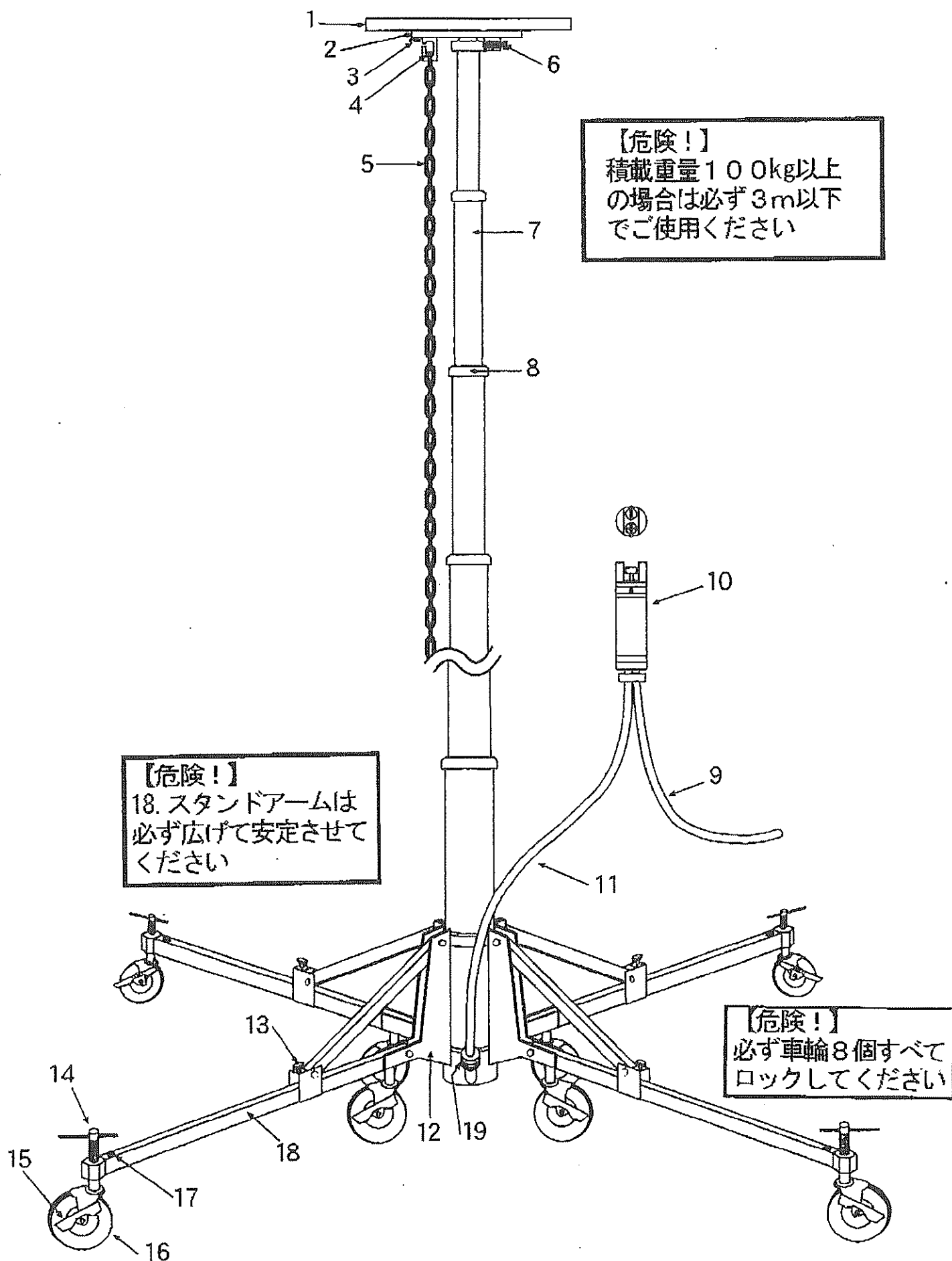
- エアーホースはリフトシリンダーが全部下がった状態ではずしてください。シリンダーが伸びた状態で外さないでください。
- リフトががたつく、異音がする、スムーズに動かない等の場合は注意しながら一旦下降させ、原因を究明し必ず解決した後で使用してください。
- シリンダーを傷つけたり、オイルや液体を付着して汚さないでください。正常動作しなくなります。
- 砂や粉塵等のある場所でのご使用は避けてください。
- 据付け、保守点検、修理はエアーホースをはずして行ってください。
- リフトシリンダーの動きがスムーズでなくなった場合は、オイルの交換・補充をしてください。
交換・補充は13mmの工具で入力カブラの反対側のパッキン付ボルトを取り外し行ってください。オイル補充量は約50 c cです。
- 荷台の下には入らないでください。

仕様

型式	A L - 4 0 0
最大積載荷重	1 5 0 kg ※ただし 3 m 以上揚げる場合は、荷重 1 0 0 Kg 以内
テーブル最高位	4 . 0 m
テーブル最低位	9 0 c m
テーブル寸法	450×720×15mm
スイッチホース	4 . 0 m
伸長止めチェーン	4 . 0 m
スタンドアーム	対辺 1 1 5 c m
	対角 1 6 5 c m
車 輪	1 0 0 mm ストッパー付き
車輪アジャスター	調整範囲 3 0 mm
車輪ロック	付き
本体重量	3 2 kg
荷降シリンダー気圧	1 5 0 kg 8 気圧
適応コンプレッサー	3 / 4 馬力以上 8 気圧

※製品の仕様は改良によって変更される場合があります。

各部の名称と説明



1. テーブル板

この上に荷を乗せます。この他にボード用のボードアップがあります。

2. テーブル受金具

この上にテーブルをのせて広い面積を確保します。

3. テーブル受蝶ネジ

テーブルと受金具をこの蝶ネジでネジ閉めます。

4. チェーンフック

伸長止チェーンをここに掛けます。

5. 伸長止チェーン

テーブルの高さを一定に保ち、荷を下ろした時のホッピングを止めます。

6. テーブルロックピン

テーブルと本体をしっかりとロックさせます。

7. リフトシリンダー

このシリンダーが空気圧によって上下します。

圧力抜け原因のキズ、へこみを付けないように注意して下さい。

8. フランジ

9. オレンジスイッチホース〈コンプレッサーへ〉

スイッチをこのエアーホースでリフコンへつなぎます。

10. スイッチバルブ

この押しボタンの⊕で上に⊖で下がります。押し方で速度を調節します。

11. グリーンスイッチホース

スイッチをこのエアーホースで本体へつなぎます。

12. アーム支持金具

本体とアームを連結します。

13. アームストッパー

アームの収納と設置をこのストッパーで固定します。

14. 車輪アジャスター

設置する場所に合わせて車輪を上下させしっかり固定します。

15. 車輪ストッパー

作業中はロックさせ移動では解除しスムーズ移動が出来ます。

16. 車輪

17. アームストッパー穴

このストッパー穴で車輪の収納設置を固定します。

18. スタンドアーム

設置の時は広げて安定させます。

19. 入力カブラ

本体とエアーホース、スイッチをつなぎます。

(反対側にはオイル交換・補充用パッキン付ボルトがあります。)

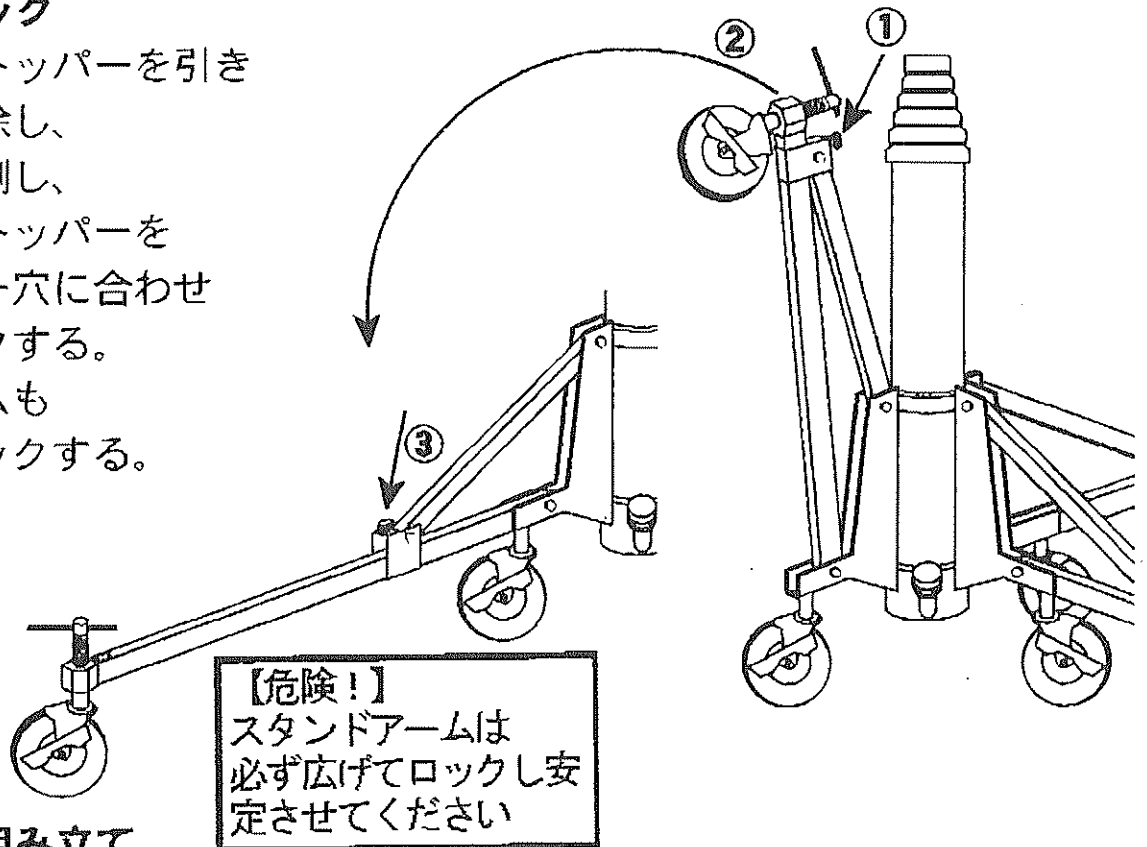
設置と作業

1. 設置場所

作業するのに十分な広さと地面、床が平らで堅い設置場所を選びます。エアホースとスイッチホースの接続がゆとりの有ることを確認する。

2. アームのロック

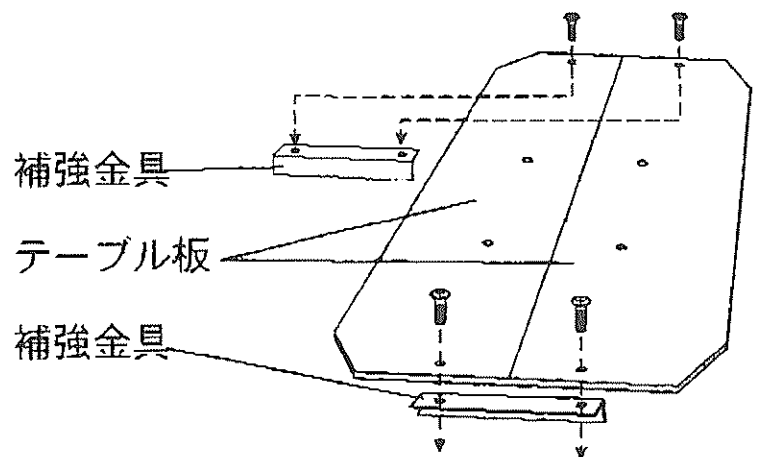
- ①アームストッパーを引き
ロック解除し、
- ②アームを倒し、
- ③アームストッパーを
ストッパー穴に合わせ
再びロックする。
- ④他のアームも
同様にロックする。



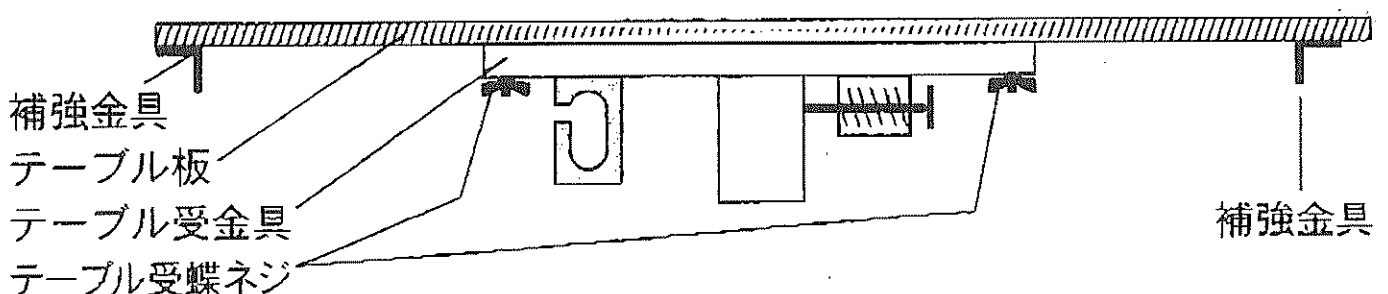
3. テーブルの組み立て

2枚に分かれているテーブル板を2つの補強金具で、プラスドライバーを使いネジでしっかり締め付ける。

※補強金具は必ず取付けて
ご使用下さい。
補強金具無しでのご使用は
破損する場合があります。

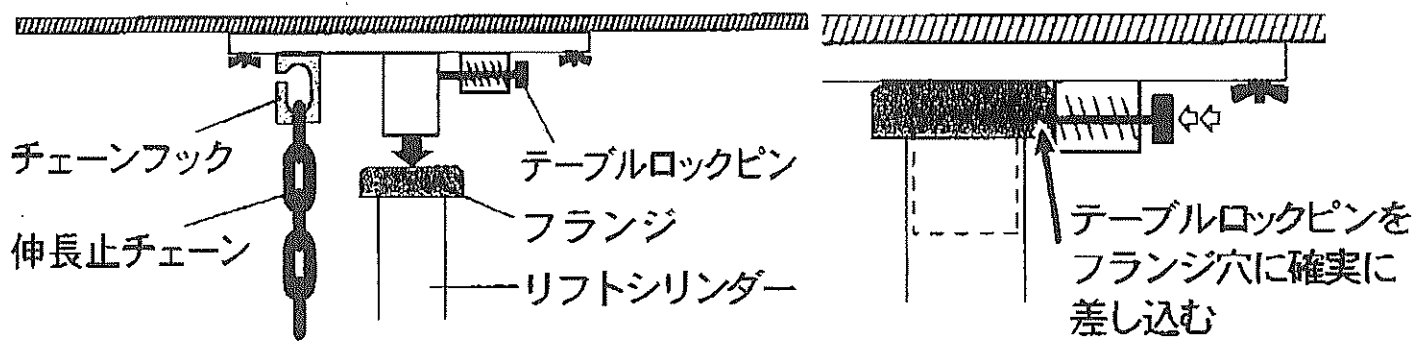


テーブル板を4つの蝶ネジでしっかり締め付ける。



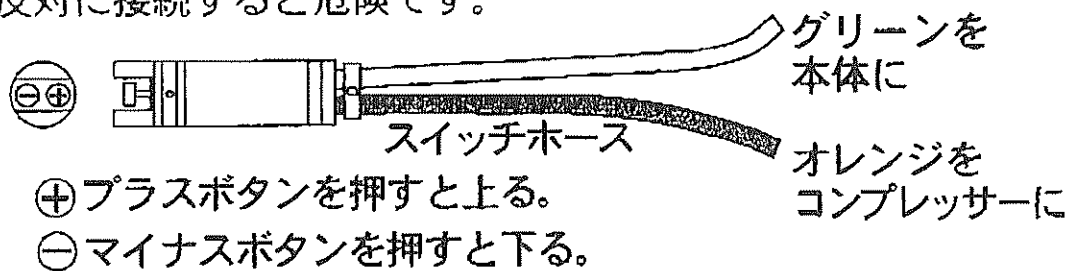
4. テーブル、伸長止チェーンの装着（荷下ろしの際は必ず行う！）

テーブル受金具をシリンダーに差し込み、テーブルロックピンをフランジ穴に確実に差し込む。チェーンフックに伸長止チェーンの端を掛ける。



5. スイッチホースの接続【危険】短くしないでください！

スイッチホースのグリーンを本体に、オレンジをコンプレッサー等に接続する。★反対に接続すると危険です。



6. 水平の確認、車輪の高さ調整

車輪アジャスターを回して上下調整する。
全車輪ストッパーのONを確認する。
ぐらつきが無いかな再度確認をする。

車輪アジャスター

7. 車輪のストッパー

車輪ストッパーをONにする。
他の車輪も同様にロックする。

ロックON

【危険！】必ず車輪8個すべてロックしてください

8. リフトを伸ばし垂直を確認

スイッチの+ボタンを押して最高位まで伸ばし
90度の2方向から眺め垂直を確認。修整する。

9. 伸長止チェーンと高さの決定

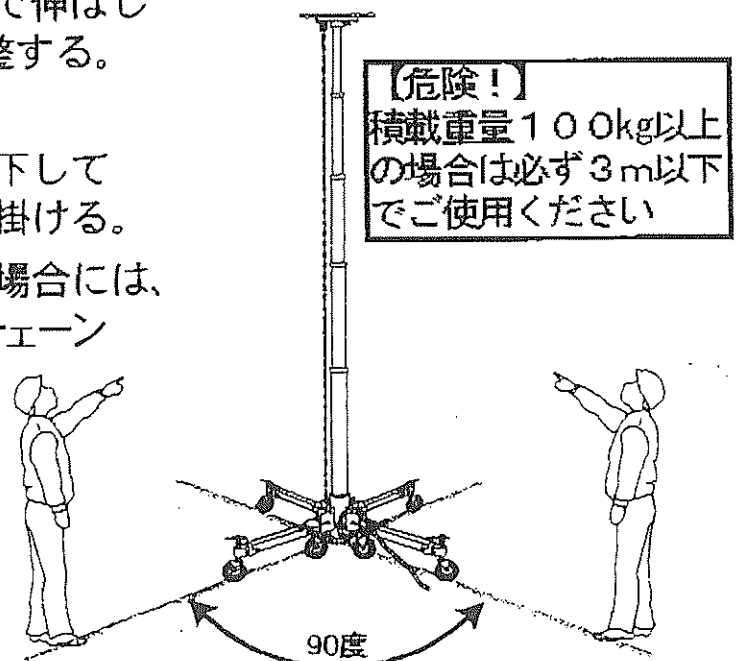
テーブルの位置を作業目的位置まで上下して
決定し、伸長止めチェーンをフックに掛ける。

★機器を取外しこのリフトで支え下ろす場合には、
テーブルが機器に触れる直前で止め、チェーン
を掛け再び加圧し、機器の取外し
作業をして下さい。

〈ホッピング作用を軽減〉

★荷下ろし作業の場合、伸長止チェーンは
必ず使用して下さい。

ホッピング作用が有り危険です。



10.荷揚げ

5で接続したスイッチホースの先端のスイッチバルブの⓪ボタンを押せば上昇開始します。

機器の安定を十分確認したうえで、ゆっくりとしたスピードで上昇させるように、スイッチの押し方でコントロールしてください。

※炭酸ガスを使用する場合は、専用レギュレータをご使用ください。

11.荷降ろし

空荷での下降の場合は、⓪スイッチを押し続けてください。

荷重がかかっている場合は、断続的に⓪スイッチを押して、下降状態の安全を確認しながら作業を行ってください。

△荷揚げ、荷降ろしの注意事項

- 昇降する機器の重心がテーブルの中心になるように積載してください。
- 荷揚げ作業の時にバランスを崩しそうになった場合、必ず一旦下降させてその揺れの原因を解消したうえで作業を再開させてください。そのまま作業を継続すると危険です。
- 連続作業時には、その都度車輪ストッパーの確認をしてください。
- 上部での取り付け及び取り外し作業時には、そばに人が接近しないように、注意を促してください。
- チェーンがフックから外れていないか、都度確認してください。
- 荷揚げ時の加圧は、下の表を目安にしてください。

型式	最大積載量	コンプレッサー使用	ガス専用レギュレータ使用
AL-400	150kg※1	8気圧以内	8気圧以内

※1 3.0m以上上げる場合は、積載量100kg以下としてください。